

羽越線脱線事故献花を実施

12月23日(水)、ジェイアール・イーストエニオン本部は、2005年12月25日に発生したJR羽越線脱線事故現場で亡くなられた5名の方々のご冥福をお祈りしました。

当日、菅野委員長及び、神田新潟地本委員長をはじめとし本部、新潟地本役員、新潟地本組合員の合わせて19人が参列し、慰霊塔前で整列し全員で黙とうを捧げ、献花を行いました。

菅野委員長の言葉

このような不幸な事故は鉄道人として絶対起こしてはならない、事故を風化させず各自がこの事故を心に刻み、究極の安全の確立を目指し普段から努力を続けていこう。

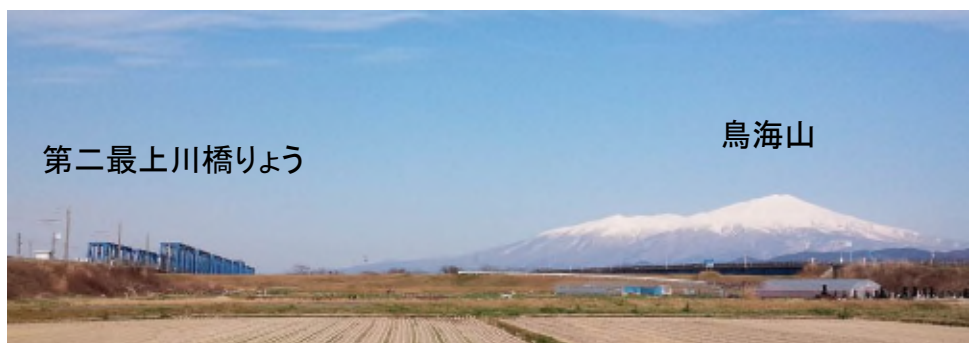


ドップラーレーダー

・事故後に余目駅に設置されたドップラーレーダー。電波を上空に発し反射した電波を計測することにより、風の向きや強さを観測することが出来る。

庄内平野は日本海で渦状の上昇気流が発生し、これが季節風により運ばれて突風が発生する。これらの観測データを蓄積し列車の安全走行に役立てられるか研究中。

・羽越本線、北余目・砂越間第二最上川橋りょうと鳥海山、この橋りょうを通過後写真左からの突風(竜巻・ダウンバースト)で脱線したと考えられる。



第二最上川橋りょう

鳥海山